

第10期分科会の活動内容総括

分科会名	活動内容
公共交通に関する分科会	<ul style="list-style-type: none"> ●丸子デマンド交通の利用実績や利用者等の意見・要望を踏まえ、エリアや運行時間の拡大などについて、利便性の向上や利用促進に向けた提案をし、意見交換を行った。 ●デマンド車両の愛称募集について、応募数72件の中から慎重に審査を行った結果「まりんこ号」を選考した。(愛称命名式：R7.3.28) ●研究を深める講座(特に路線バス)として、「利便促進事業と地域公共交通の現状について」交通政策課から説明を受け、課題となっている人材確保策や公共交通の確保・維持、利便性の向上につながるなどについて、アイデアを出し合い、意見交換を行った。 ●2024年問題に伴う鹿教湯線の減便に対し、上田発最終便の時間延長等について、地域の声として市へ強く要望を行ってきた。(R7.10.1 上田発20時の便が復活した) ●これまでの分科会の成果として、丸子デマンド交通の運行が実現し、愛称も決まり、地域の移動手段として利用者数も順調に伸びている状況であり、所期の目的は達成している。 しかし、一方で利用者等からはエリアや運行時間の拡大、停留所の増設などの要望があり、停留所については、運行開始以降13箇所が増設され、利便性の向上を図ることができたが、エリアや運行時間の拡大については、運転手の確保や、バス、タクシー事業者等との協議・調整など、直ちに改善することが難しい課題がある。
福祉・子育てに関する分科会	<ul style="list-style-type: none"> ●出前講座で「不登校児童・生徒への取り組み」について学習した。 ●サロン塩川及びまるこ福祉会子どもレストランの視察見学を行った。 ●丸子中央小学校のコミュニティスクール活動内容について、地域の方からお話をお聞きした。 ●不登校の子どもの居場所について協議したが、登校できる頻度や条件などの課題が個人によって異なることから、一律の施策で解決するのは難しいという結論に至った。 ●必要とする住民に子育て支援に関する情報を届けるため、行政の情報発信方法に改善の余地があるのではないかと協議した。
文化財・歴史分科会	<ul style="list-style-type: none"> ●丸子地域の文化遺産や歴史等について調査・研究を行い、見識を深めることを目的に活動を進めてきた。具体的には、 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽山洞窟遺跡 ・カネボウ跡地(依田社・丸子鐘紡) ・岩谷堂 ・飯沼の郷蔵とその周辺 などについて現地視察も交えながら学習をしてきた。 ●丸子地域特有の文化遺産や歴史等について、地域の方への啓発や次世代へ継承していくための取組も今後必要であることが確認された。 ●文化財を保存するだけでなく活用していくことも一つ有効な手段である。